

事務事業名		中野市消費者の会事務		目標設定日	平成29年3月1日
				部・局	くらしと文化部
総合計画体系	基本政策	—	総合計画に記述のない事務事業	課・室	市民課
	政策	—	—	係	生活交通安全係
	施策	—	—	内線電話	238
予算体系	会計	団体事務局事務		実施計画	
	款	—	***	—	
	項	—	***	実施期間	
	目	—	***	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	正しい知識を身に付けるための学習を進めるとともに、消費者への正確な情報提供を推進する。
現状・課題	消費生活に必要な知識を習得するため、毎月の定例会の開催や県・市への積極的な参画をしているが、年々会員の減少が課題となっている。			
市が行う理由及びその根拠	その他	消費者基本法、消費者安全法、中野市消費者の会会則		
事務事業概要	消費者の会開催（学習会、環境祭への参加等）、県の行事への参加、市の行事への参加			
平成29年度の活動指標 アウトプット	活動内容			活動量
	消費者の会 定例会の開催			12回
	消費生活講演会の開催（市と共催）			1回
	環境祭への参加			1回
	県・市の関係機関への会議等出席			随時

事務事業インプット	項目	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額	当初予算	円		
補正予算		円			—
合計		円	0	0	0
決算（見込）額 A		円			—
財源内訳	国庫支出金	円			
	県支出金	円			
	市債	円			
	その他特定財源	円			
H29は予算額	一般財源	円	0	0	0
正規職員数		人			
人件費 B		円	0	0	0
総事業費 A+B		円	0	0	0
市民1人当たりコスト		円	0	0	0

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
消費者の会	定例会の回数	維持	目標	12	回	12	回	12	回
			成果	12	回	12	回	—	
消費者の会	会員数	維持	目標	30	人	31	人	31	人
			成果	27	人	23	人	—	
成果指標と目標値の設定理由	毎月実施する定例会で、廃油を活用した石けんを作り、環境祭で斡旋し好評を得ている。会員数が減少し、会の活動に苦慮、会員増加を図りたい。								

平成29年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	会員数の維持に努め、様々な消費者問題を解決するリーダーとなっていただくよう、会の存続を図る。						

